

第 2 2 回 通常社員総会

議 案 書

月 日 令和 5 年 5 月 3 0 日 (火)

場 所 札幌市民ホール

時 間 1 3 時 3 0 分 ～



認定 NPO 法人 シーズネット

総 会 次 第

1. 開 会

2. 資格審査報告

3. 議長選出

4. 議事録署名人選出

5. 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告について…………… 2P～7P

第2号議案 令和4年度決算報告について…………… 8P～11P

第3号議案 令和4年度監査結果について…………… 12P

第4号議案 令和5年度事業計画書(案)について…………… 13P～15P

第5号議案 令和5年度活動予算書(案)について…………… 16P

第6号議案 理事・監事の改選(案)について…………… 17P

6. その他

7. 閉 会

令和4(2022)年度 事業報告書

(第1号議案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む

2. 特定非営利活動に係る活動

◆理念を啓発する活動

事 業 名		事 業 内 容	実 施 結 果
メイン項目	サブ項目		
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の開催	知恵袋講座と市民公開講座を統合し、講座のテーマにより対象を変えて実施します。 ※リモート開催を検討します	コロナ感染の収束が見えず、講座の実施を見合わせました。 リモート開催も検討しましたが、見合わせることにしました
	市民公開講座の開催		
	住いの情報セミナー開催	住いのセミナー(札幌市住宅管理公社受託事業)を引き続き受託します(コロナ禍による中止条項あり)	発注元の開催要望もあり、定員180名の会場で80名の募集とし、4回実施307名の参加がありました。 (コロナ感染予防対策により罹患患者の発生は有りませんでした)
	地域ささえ愛サミット2022開催(北海道住宅管理公社主催)	旧「団地サミット」で、昨年度まではコロナ禍のため集まることはできませんでしたが、今年は開催することを前提として主催者に協力して実施します	11月26日北海道自治労会館で実施、158人の入場があり成功裏に終了しました。 (コロナ感染予防対策により罹患患者の発生は有りませんでした)
	シニア提言の集い開催	実施の環境が整えば開催します(コロナ禍の影響で年度当初での予定は立ちません)	コロナ感染の収束が見えず、講座の実施を見合わせました

◆仲間づくり・居場所づくり

事 業 名		事 業 内 容	実 施 結 果
メイン項目	サブ項目		
高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	サークル数の増に取組みます	新サークル3件立ち上がり(PHP会、音読を楽しむ、共助の会)、廃部3件(シニア人生、ノルディック、洋楽を歌う)、統合1件(茶話会)で現在29サークル
	サークル立ち上げ相談に対応します		
	推進会議の開催と事務局との連携	会の存在意義を体現する中心的存在としてのサークル活動の改善と活性化を図ります	赤い羽根街頭募金リーダーを選出し、講習会等実施。コロナ禍での各サークルの活動状況等を話し合いました
	シーズネット祭り開催	コロナ禍のため2年間中止しましたが、今年はちょっと規模を縮小して行いたいと思います	9月3日、3年振りの開催に向け準備したもののコロナ感染拡大で急きょ中止することになりました
	サークルが他団体イベントに参加推進	社会貢献意識の醸成は継続して啓発します(コロナ禍の影響で年度当初での予定は立ちません)	コロナ感染防止のため全てのサークルが他団体との連携を控えました

高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	地域交流サロン このはなの活動の充実	コロナ感染の推移を見極めながら、活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います	週3回(月、水、金)で年間149日の開催、延べ1,211名の利用がありました。地域別にみると、利用者の62%がサロンから半径500m圏内の居住者でした。 (コロナ感染予防対策により罹患患者の発生は有りませんでした)
	もみじ台管理センター運営協力	地域コミュニティを促進する事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します。 (日興美装工業㈱受託事業)	もみじ台地区の地域コミュニティ促進事業に継続して協力しました(シネマサロン、各種イベントなど)。
	WEBでサロンの運営	今年もズームを利用してWEBでサロンを月4回程度開催します	WEBでの歌声や脳活塾など41回開催し、延べ530組の参加でした。札幌西門山病院、明治安田生命のご協力をいただきました
	札幌市保養センター駒岡の文化講座支援	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します (保養センター駒岡委嘱事業)	感染予防対策をセンター側と協力徹底して毎月4回実施、延べ1,500余名の参加(4卓×4名×2回(午前・午後)×4回/月×12ヵ月)の参加がありました。 指導員を3名派遣しています。

◆役割づくり

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務を受託	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業受託(道・札幌市) ②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市) ※作業体制を整備し、堅実に運営します	サ高住登録件数は、北海道:新規5件・更新57件、札幌市:新規8件・更新84件、また有料老人ホーム届出件数は28件で、両事業とも確実に業務を遂行しました。
	あんしん住まいサッポロとの連携	姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」の活動を支援します	札幌市居住支援協議会との業務委託となったことから、支援要素が縮小しました
	脳活塾の開講	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります	月・水にて定期的に講座を開講し、総実施回数110回、参加人数1,212人でした。また、月一回のWEBでの脳活塾を実施しました
	脳活塾の普及	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります	北海道新聞・ケア・札幌市社会福祉協議会広報誌等への問題提供により、「脳活塾」の普及を図りました
	各地の脳活活動に協力	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力します	札幌市内にて3件、石狩市・恵庭市にて出張脳活塾を実施しました
異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	会員及び市民ボランティア活動の育成・啓発事業	ボランティアの研修会を開催し、ボランティア活動に役立てる仕組みを作ります。シーズネット版ボランティアポイント制度を見直し、普及に努めます。また、話し合いサポーター事業はボランティアポイント制度に一本化します	ボランティアに関するアンケートを実施し、その結果は通信2月号で報告しました。この分析を通じて新たなボランティア活動など検討することとし、ボランティアの研修会は冬季間の開催を見送り来年度に繰り延べることにしました。また、話し合いサポーター事業はボランティアポイントに一本化しましたが、施設の面会禁止が継続されているため活動実績はありませんでした。
	話し合いたいサポーター派遣事業		
	市民ボランティア事業	「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施します。「森と緑の会」の助成金を活用します	「大通花壇づくり」は23回、延べ192人で活動しました。 「森林づくり事業」は8回、延べ72人が活動しました。 野幌森林公園内の新規植樹地で活動開始しました。
	中国帰国者支援事業	北海道社会福祉協議会から「北海道中国帰国者支援事業」を継続して受託します	検温、消毒とコロナ感染に注意し、厚別・手稲区の2か所で月1回の介護予防サロン実施。計24回、延348人が参加

異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	北大留学生のためのガレージセール実施協力	コロナ禍で中断していますが、主催者の実施判断に従い協力します	コロナ禍の為、春と秋の2回のセール実施は中止となりました
	街頭募金活動の実施	コロナ禍で中断していますが、主催者の実施判断に従い協力します	これまでの北区1区から、市内7区、総勢27人で10月1日～7日の間に実施しました
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組みます	今年は、まず会員向けに、ボランティアに関するアンケートを実施しました。その分析を行い、来年度以降の調査研究事業を検討します
福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します	契約件数は、特養1件、障害者生活介護1件、保育園1件ありました

◆その他目的に沿った事業

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
その他、目的を達成するために必要な事業	シニア人生の多様なニーズの課題解決	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組みます。札幌市在宅福祉活動団体ネットワークとの連携に努めます	認定NPO法人ふまねっとと連携し、WAM助成金を活用し、ふまねっと運動の出前講座、子どもに勉強を教えるイチゴ教室を実施しています。(助成金事業責任団体はNPO法人ふまねっと)。在宅福祉ネットとは情報交換をしています
	他団体との連携・協働	鉄西地区町内会、平岸地区町内会等の団体との連携・協働に努めます。また北大生のボランティア団体「まごのて」「わっこ」に協力します	鉄西地区町内会、平岸地区町内会に加盟し、各種行事・会議に出席しています。まごのて・waccolには事務所の机を提供し、waccolにはイチゴ教室などで協力いただいています。また、ふまねっと、waccolと共同研修会を2回開催しました
	地域生活支援推進協議会に参加	北区社会福祉協議会が推進する「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します	協議会に構成メンバーとして参加しています
	黄色いレシートキャンペーンに協力	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります	毎月11日が「黄色いレシートの日」であることを通信で周知し、レシートの収集に努めています

◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	事業内容	実施結果
会員制度の見直し	会員の整理	正会員、賛助会員の区分整理を明確にし、会員自身が選択する方法で整理します	前年度末会員数652名(正会員529、賛助会員107、団体会員16)が、今年度末会員数622名(正会員118、賛助会員492、団体会員12)
理事長責務事項	積極的な情報開示	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開します	社員総会で承認された活動報告、活動計算書、財務諸表等は適正に公開しています
	担当分掌による業務遂行	組織運営体制に基づく担当分掌を定め適正に遂行します	理事の役割分担、運営会議メンバーの分掌を整理して遂行しています
	寄付金募金の促進	評価される社会貢献活動の実施とそれに伴う寄付行為の環境を醸成します	社会貢献団体からの寄付、会員からの寄付等がありました

運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます	業務理事及び事業担当責任者を定型メンバーとして、毎月1回開催しました
	決定事項の適切な開示	決定した事項を通信等で会員に開示します	運営会議について開催内容を通信とホームページで周知しました
会員支援	推進会議の定例開催	適正なサークル運営を実践するため毎月定例開催します	4/11、5/2の2回はコロナ感染拡大で中止。他は毎月開催
	会員交流の場の実施	シーズネット祭り等で会員の交流を図ります	コロナ感染者増加で祭りが急きょ中止になり出来ませんでした
支部活動支援	支部活動費支援	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します	3月末の会員数により支援金を支払いました
	支部代表者会議の実施	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます	コロナ感染終息が見えず、中止しました
広報活動	活動紹介リーフレット・ビデオ作成	リーフレット・ビデオを新規に作成し啓発活動に活かすとともに新入会員オリエンテーションを充実します	4月にコンパクトなリーフレット完成し活用。オリエンテーションは、4/22は8名61.7%、7/29は6名40%、10/28は6名42.9%、1/27は5名62.5%参加、理念等浸透を図る。ビデオの作成は進んでいません
	シーズネット通信の継続発行	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します	コロナ禍での通信発行の重要性から、毎月の発行を維持しました。7月に市内10区の区民センターまわり、毎月10部郵送して掲示をいただくことで合意しました
	ホームページの維持・改善	ホームページを活用してシーズネットの活動を広く周知します。	毎月の通信をはじめ、タイムリーな記事の掲載に努めました
事務局体制	事務局管理体制の強化	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります	改正した定款及び会員規則等に基づき、適正な事務処理に努めました
	会員の入退会情報の管理	入退会情報を把握し会員管理を適切に実施します	入退会情報など会員管理の適正化に努めました
	事務局体制の充実	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります	事務局長や経理業務担当等のボランティアを採用しました
	認定NPO法人の継続認証	条例指定によらない認証に向けPSTの環境整備を図ります	PST基準をクリアする方法を模索中

3. その他の事業

その他の事業	物品の斡旋及び販売	今年度は特に計画しておりません	実施実績はありません
	役務の提供	今年度は特に計画しておりません	実施実績はありません

1. 会員の組織状況(令和5年3月31日)

(資料-1)

(1) 会員数

区 分		令和4年度末 ①	令和3年度末 ②	増減(①-②)	備 考
会 員 総 数		622名	652名	▲ 30名	
正会員	個人	118名	529名	▲411名	
	団体	11団体	15団体	▲4団体	
賛助会員	個人	492名	107名	385名	
	団体	1団体	1団体	0団体	

(2) 男女別会員数及び平均年齢(正会員)

区 分	令和4年度末 ①	令和3年度末 ②	増減(①-②)	備 考 令和4年度末(会員総数)
男 性	50名	165名	▲115名	186名
女 性	68名	364名	▲296名	409名
平均年齢	76.7歳	75.3歳	—	75.6歳

(3) 地域別会員数(会員総数)

区 分	令和4年度末 ①	令和3年度末 ②	増減(①-②)	備 考
札 幌	447名	476名	▲29名	
旭 川	124名	119名	5名	
函 館	51名	57名	▲ 6名	

2. 役員名簿(令和5年3月31日現在)

役 職	氏 名
理 事 長	奥 田 龍 人
統括副理事長	千 秋 憲 博
理 事	山 根 勝 利
理 事	青 木 基 成
理 事	笠 谷 明 司
理 事	大 島 康 雄
理 事	山 本 純 子
理 事	宮 村 善 英
理 事	渡 邊 一 栄
理 事	小野寺 さゆみ
監 事	篠 塚 正 徳
監 事	小 野 忍

2. サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合		計	
		令和4年度		令和3年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	10	161	2	24
2	絵手紙教室	12	48	7	29
3	男の料理教室	0	0	0	0
4	お抹茶を楽しむ会	5	19	3	16
5	歌謡サークル	7	101	0	0
6	グラウンド・ゴルフ倶楽部	7	46	2	10
7	五行歌の会	12	132	6	65
8	ゴルフを楽しむ会	10	120	4	42
9	酒と語り場	0	0	0	0
10	茶話会(「茶話会北24」と統合)	7	37	2	9
11	シーズネット合唱団	2	63	0	0
12	初級川柳教室	12	54	5	20
13	シングルの会	8	98	1	11
14	ステップ&ステップ	15	254	5	87
15	黄昏(たそがれ)勉強会	16	98	3	14
16	楽しいお花	12	42	6	31
17	楽しいシニア人生	2	35	0	0
18	楽しいリコーダー入門	24	185	11	79
19	短歌勉強会	12	71	5	29
20	ノルディック・ウォーキング	7	103	1	15
21	パソコン勉強会	10	66	4	23
22	陽だまりの会	2	15	0	0
23	百聞会	11	174	2	34
24	福祉タクシーで行く旅の会	0	0	0	0
25	ボウリングサークル	1	8	0	0
26	盆踊りの会	8	28	6	21
27	民謡を楽しむ会	0	0	0	0
28	洋楽を歌う会	2	11	3	19
29	旅行サークル	0	0	0	0
30	わくわく同好会・旅行サークル合同	11	250	4	75
31	福祉バス(百聞会・旅行サークル合同)	1	23		
32	PHP友の会	12	76		
33	音読を楽しむ会	10	134		
34	元気で100歳	5	54		
35	共助の会	4	34		
合 計		257	2,540	82	653

令和4年度決算報告

(第2号議案-1)

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,901,818		
未収金	2,940,962		
仮払金	286,610		
貯蔵品	0		
流動資産合計		13,129,390	
2. 固定資産			
什器備品	7		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		45,007	
資産合計			13,174,397
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,452,958		
未払消費税等	737,300		
預り金	26,350		
前受金	228,000		
流動負債合計		2,444,608	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,444,608
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,103,388	
当期正味財産増減額		626,401	
正味財産合計			10,729,789
負債及び正味財産合計			13,174,397

その他の事業は実施しておりません

令和4年度決算報告

NPO法人シーズネット
(第2号議案-2)

財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		9,901,818	
自主運営事業手持ち現金	768,451		
助成受注事業手持ち現金	30,438		
北海道銀行札幌駅前支店	7,202,784		
北洋銀行北7条支店	880,627		
ゆうちょ銀行	1,019,518		
未収金		2,940,962	
北海道建築指導課(サ付登録)	481,272		
札幌市(サ付登録・有老届出)	1,985,500		
日興美装工業㈱	146,850		
札幌市介護支援専門員連絡協議会他	327,340		
仮払金		286,610	
サークル傷害等保険料 他	286,610		
流動資産合計		13,129,390	
2. 固定資産			
什器備品	7		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		45,007	
資産合計			13,174,397
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		1,452,958	
3月分給与等 4/15払	1,066,396		
各種費用未払額(消耗品、通信費他)	191,002		
事務局・このはな・駒岡活動費	195,560		
未払消費税等	737,300	737,300	
預り金		26,350	
源泉税・住民税預り金	26,350		
前受金		228,000	
受講料等翌年度分前受	228,000		
流動負債合計		2,444,608	
2. 固定負債		0	
負債合計	0		2,444,608
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,103,388	
当期正味財産増減額		626,401	
正味財産合計			10,729,789

その他の事業は実施しておりません

令和4年度決算報告

(第2号議案-3)

活動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 会員会費収入	2,028,000		
2. 活動参加収入	1,260,359		
3. 寄付金収入	635,538		
4. 助成事業収入	8,044,657		
5. 自主受注事業収入	14,701,227		
6. 雑収入	1,715,501		
経常収益計			28,385,282
II 経常費用			
1. 事業費		21,145,133	
(1) 人件費 計		11,688,491	
人件費	10,702,521		
厚生費	985,970		
(2) その他経費		9,456,642	
賃借料(家賃を含む)	1,542,000		
消耗品費	271,152		
水道光熱費	195,478		
旅費交通費	983,646		
租税公課	336,000		
諸謝金	1,207,300		
通信費	1,531,391		
印刷費/広告	111,258		
委託費/支払報酬	2,671,427		
その他の経費	606,990		
2. 管理費		6,613,748	
(1) 人件費		0	
人件費計	0		
(2) その他経費		6,613,748	
賃借料(家賃を含む)	1,674,495		
消耗品費	666,361		
水道光熱費	309,079		
旅費交通費	1,356,981		
租税公課	368,853		
保険料	6,900		
通信費	885,808		
委託費/支払報酬	442,960		
その他の経費	902,311		
経常費用計			27,758,881
当期正味財産増減額			626,401
前期繰越正味財産額			10,103,388
次期繰越正味財産額			10,729,789

※その他の事業は実施しておりません。

財務諸表の注記

(第2号議案-4)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シーズネット 合 計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸 口
経常費用	27,758,881	6,613,748	21,145,133	2,341,615	18,479,018	324,500
人件費	11,688,491	0	11,688,491	214,160	11,474,331	0
給料手当	9,312,370	0	9,312,370	0	9,312,370	0
法定福利費	1,390,151	0	1,390,151	16,717	1,373,434	0
厚生費	985,970	0	985,970	197,443	788,527	0
その他経費	16,070,390	6,613,748	9,456,642	2,127,455	7,004,687	324,500
会場費	294,088	3,219	290,869	258,931	31,938	0
会議費	0	0	0	0	0	0
賃借料	1,722,724	1,067,232	655,492	76,016	579,476	0
消耗品費	937,513	666,361	271,152	208,817	62,335	0
水道光熱費	504,557	309,079	195,478	31,822	163,656	0
旅費交通費/運搬	2,340,627	1,356,981	983,646	568,472	415,174	0
手数料	413,193	52,239	360,954	6,626	352,428	1,900
租税公課	704,853	368,853	336,000	0	13,400	322,600
諸謝金	1,494,451	287,151	1,207,300	245,000	962,300	0
保険料	28,172	6,900	21,272	21,272	0	0
通信費	2,417,199	885,808	1,531,391	93,486	1,437,905	0
諸会費	37,900	26,000	11,900	11,900	0	0
新聞図書費	45,016	44,136	880	880	0	0
印刷費/宣伝費	139,804	28,546	111,258	49,775	61,483	0
支払報酬	460,000	105,448	354,552	0	354,552	0
支払家賃	1,199,683	604,044	595,639	377,455	218,184	0
備品購入費	74,182	74,182	0	0	0	0
修繕費	100,000	100,000	0	0	0	0
委託費	2,654,387	337,512	2,316,875	0	2,316,875	0
雑費	502,041	290,057	211,984	177,003	34,981	0
償却費	0	0	0	0	0	0

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は10,729,789円ですが、そのうち、421,000円は、野幌森林公園内「NPO法人シーズネットの森」看板設置のための寄付金です。

4. その他

その他の事業は実施していません

監 査 報 告 書

令和5年4月22日

特定非営利活動法人シーズネット

理事長 奥田 龍人 様

監 事

篠 塚 正 徳



監 事

印

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び決算報告書類（貸借対照表、財産目録及び活動計算書）について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、事業報告書及び関連する書類を閲覧、質問等を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照会、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの令和5年3月31日をもって終了する事業年度の事業執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以 上

(第4号議案)

令和5(2023)年度事業計画書(案)

※【新】は新規事業、【再開】はコロナ後の再開事業

1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する。
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む。

2. 特定非営利活動に係る活動

◆理念を啓発する活動

事 業 名		事業内容
メイン項目	サブ項目	
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	【再開】知恵袋講座の充実	コロナ禍も落ち着いたことから、今年度から毎月開催します。できるだけ会員が講師を引き受ける講座を増やして行きます。
	住いの情報セミナー開催	住まいのセミナー(札幌市住宅管理公社受託事業)を引き続き開催します。
	【再開】シニアの暮らしアドバイス講座開催	講座をシリーズで行い、介護保険、住まいなどの勉強会を開催します。
	【再開】市民公開講座開催	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を年1回程度開設します。
	地域ささえ愛サミット2023協力 (北海道住宅管理公社主催)	公的住宅等の共通の課題である孤立防止に向けてのサロン発表や展示等の運営に協力します。
	【再開】シニア提言の集い開催	アクティブシニアの皆さんがお互いに刺激し合って活力ある生活を創造するための提言を募集して、発表する集いを開催します。

◆仲間づくり・居場所づくり

事 業 名		事業内容
メイン項目	サブ項目	
高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	サークルの数を増やすよう働きかけます。また、サークルの代表の後継者の課題に取り組めます。
	サークル立ち上げ相談に対応します	新規サークル立ち上げに向けて事務局が積極的に対応します。
	推進会議の定期開催と事務局との連携	サークル活動の活性化に向けサークルリーダーを集めた推進会議を定期的に開催します。
	【再開】シーズネット祭り開催	3年間、コロナ禍で開催していませんでしたが、今年は開催を予定します。サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の多様な活動を周知します。
	地域交流サロンこのはなの活動の充実	地域交流サロンこのはなの活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います。
	「WEBでサロン」の継続	引き続き「WEBでサロン」を月3～4回開催します。
	もみじ台管理センター運営協力	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します。(日興美装工業㈱受託事業)
	他サロンと協働で活動をアピールする	他サロンとの交流を深め、協働して活動を発表する場を創ります。(地域ささえ愛サミット2023等を活用)
	札幌市保養センター駒岡の文化講座支援	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します。(保養センター駒岡委嘱事業)

◆役割づくり

事業名		事業内容
メイン項目	サブ項目	
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務を受託	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業(北海道・札幌市)受託。②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市)受託。委託者の定める処理要領に則って堅実な業務を行います。
	あんしん住まいサッポロとの連携	姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」と連携して情報誌の発刊・販売の活動に協力します。
高齢者の認知機能低下予防のための研究等事業	脳活塾の開講	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります。
	脳活塾の普及	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります。
	各地の脳活活動に協力	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力します。
異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	①会員向けにボランティア活動の研修会を実施します。 ②シーズネット版ボランティアポイント制度を継続します。 ③会員の特技や資格を把握してボランティア活動などに役立てる仕組みを作ります。
	環境整備ボランティア事業	「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施します。「森と緑の会」の助成金を活用します。
	中国帰国者支援事業	北海道社会福祉協議会から受託している「北海道中国帰国者支援事業」を継続実施します。
	【再開】ガレージセール実施協力	北大の留学生のためのガレージセールに引き続き協力します。
	街頭募金活動の実施	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施します。
	【新】つながりワーカー養成	地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材養成講座を開講します。(赤い羽根共同募金助成事業)
	【新】窓ふきボランティア	高齢者の自宅の窓ふきを支援する生活支援事業を行います。
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組みます。
福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します。

◆その他目的に沿った事業

事業名		事業内容
メイン項目	サブ項目	
その他、目的を達成するために必要な事業	シニア人生の多様なニーズの課題解決	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組みます。
	他団体との連携・協働	鉄西地区町内会、平岸地区町内会、在福ネット等の団体との連携・協働に努めます。
	学生ボランティア支援	北大生ボランティア団体の「まごのて」「wacco」の支援を行い、多世代交流を深めます。
	地域生活支援推進協議会に参加	北区社会福祉協議会が推進する「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します。
	黄色いレシートキャンペーンに協力	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります。

◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	事業内容
理事長責務事項	積極的な情報開示	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開に努めます。
	担当分掌による業務遂行	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行します。
	寄付金募金の促進	・社会貢献活動の積極的な実施とそのアピールを行います。 ・特定のボランティア活動への寄付を募ります。
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます。
	決定事項の適切な開示	決定した事項を通信等で会員に開示します。
会員支援	推進会議の定例開催	適正なサークル運営を実践するため定期的に行います。
	会員交流の場の実施	「シーズネット祭り」、「会員交流会」を実施します。
	【再開】会員向けオンラインコミュニケーションの研修	これからのコミュニケーションツールとしてZoom等のオンラインコミュニケーション手段の研修会を行います。
支部活動支援	支部活動費支援	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します。
	支援部代表者会議の実施	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます。
広報活動	シーズネット通信の継続発行	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します。
	ホームページ他SNSでの情報発信	ホームページ、SNS(フェースブック、ツイッター、インスタグラム)を活用してシーズネットの活動を広く周知します。
事務局体制	事務局管理体制の強化	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります。
	会員の管理	個人情報保護を強化した会員管理の在り方を検討します。個人情報保護に関する研修会を開催します。
	事務局体制の充実	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります。
	認定NPO法人の継続認証	条例指定によらない継続認証に向け事務作業の整備を図ります。

3. その他の事業

メイン項目	サブ項目	事業内容
その他の事業	【新】物品の斡旋及び販売	「脳活塾」のブックレットを作成し販売します。(著作権等のクリアが条件)
	役務の提供	今年度は特に計画しておりません。

令和5年度活動予算書 (案)

(第5号議案)

(令和5年年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 会員会費収入	2,150,000		
2. 活動参加収入	1,950,000		
3. 寄付金収入	750,000		
4. 助成事業収入	12,176,000		
5. 自主受注事業収入	6,737,000		
6. 雑収入	1,710,000		
経常収益計			25,473,000
II 経常費用			
1. 事業費		17,609,000	
(1) 人件費計		11,956,000	
人件費	11,219,000		
厚生費	737,000		
(2) その他経費計		5,653,000	
賃借料(家賃を含む)	1,280,000		
消耗品費	303,000		
水道光熱費	220,000		
旅費交通費	818,000		
租税公課	313,000		
諸謝金	1,610,000		
通信費	300,000		
印刷費	110,000		
委託費	345,000		
その他の経費	354,000		
2. 管理費		7,311,000	
(1) 人件費		0	
人件費計		0	
(2) その他経費		7,311,000	
賃借料(家賃を含む)	1,600,000		
消耗品費	600,000		
水道光熱費	350,000		
旅費交通費	1,600,000		
租税公課	350,000		
保険料	10,000		
通信費	900,000		
委託費	460,000		
その他の経費	1,441,000		
経常費用計			24,920,000
当期正味財産増減額			553,000
前期繰越正味財産額			10,729,789
次期繰越正味財産額			11,282,789

理事・監事の改選（案）について

本年の通常社員総会の終結のときをもって任期満了となる理事及び監事の後任の選任について、次の者を推薦します。

理 事 候 補

奥 田 龍 人 (再 任)

千 秋 憲 博 (再 任)

山 根 勝 利 (再 任)

青 木 基 成 (再 任)

笠 谷 明 司 (再 任)

大 島 康 雄 (再 任)

山 本 純 子 (再 任)

細 田 高 (新 任)

小野寺 さゆみ (再 任)

田 中 美智子 (新 任)

神 内 秀之介 (新 任)

監 事 候 補

守 屋 泰 典 (新 任)

小 野 忍 (再 任)